



芝居小屋「長栄座」夏のフェスティバル2026

# 湖北百景 - 観音さんの里

八令和

2026

8月2日【日】  
14時開演（13時30分開場）

## プログラム

### 第1部 トーク

「湖北につたわる観音信仰とは」

直木賞作家の澤田瞳子、登壇！

### 第2部 創作浪曲

「湖北の観音さん」

井上靖「星と祭」より

井上靖の名著が浪曲で蘇る

### 第3部 創作舞踊

「十一面観音」

日本舞踊家と日本歌劇団OGが舞う

演出…山村友五郎

「観音さん」の物語。

振付…山村侃

伝統と華やぎのステージ。

作曲…松岳一輝

## 会場

滋賀県立文化産業交流会館

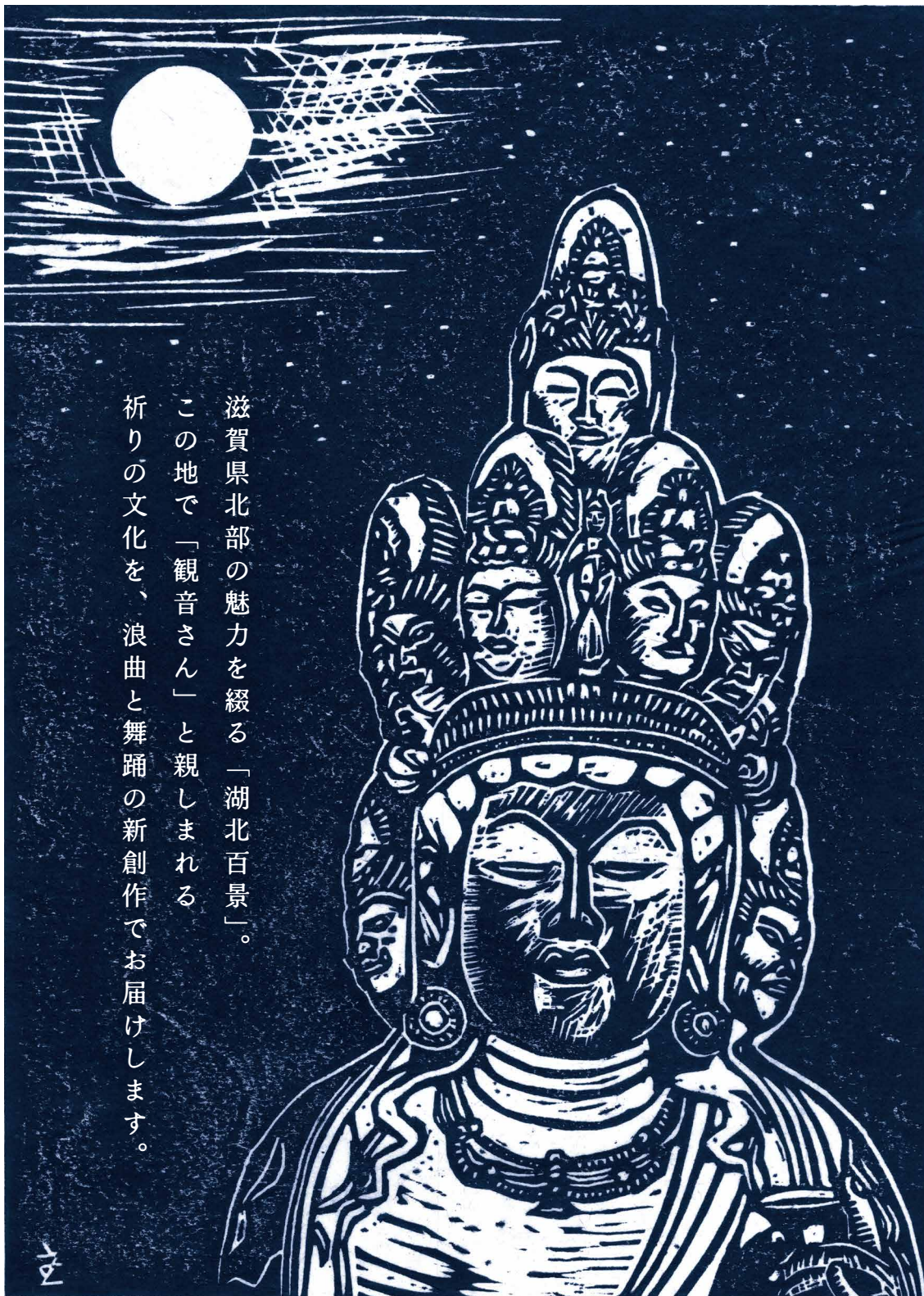
イベントホール内特設舞台「長栄座」

## 料金

一般 4,000円

青少年（24歳以下） 2,000円

\* 全席指定 \* 6歳以上入場可



滋賀県北部の魅力綴る「湖北百景」。  
この地で「観音さん」と親しまれる  
祈りの文化を、浪曲と舞踊の新創作でお届けします。

第1部 トーク

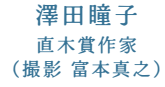
「湖北につたわる観音信仰とは」

直木賞作家とともに、湖北の祈りの姿に触れる。



長谷川知司

渡岸寺観音堂  
高月町国宝維持保存協賛会会長



澤田瞳子  
直木賞作家  
(撮影 富本真之)

福井智英  
高月観音の里  
歴史民俗資料館館長

第2部 創作浪曲

「湖北の観音さん」

井上靖「星と祭」より 作・西村卓也

春野恵子の口演で彩る、湖北の観音の物語。



春野恵子  
浪曲師



藤初雪  
曲師

第3部 創作舞踊

「十一面観音」

日本舞踊家と日本歌劇団OGが競演する、新創作の「観音さん」。



山村友五郎  
(撮影 篠山紀信)

演出：山村友五郎  
振付：山村侃  
作曲：松岳一輝



山村若笑



山村若瑞



山村若有子



山村侃



山村若隼紀

日本舞踊家(山村流)

OSK日本歌劇団OG

長栄座をさらに楽しむプレ企画

「湖北百景ー観音さんの里」の第2部では、井上靖「星と祭」新作浪曲を初披露。本公演に先立ち、浪曲の魅力や井上靖と湖北の関係を紐解きます。  
日時：7月4日【土】14時  
出演：春野恵子(浪曲師)、藤初雪(曲師)、明定義人(元・長浜市立高月図書館館長)

会場：滋賀県立文化産業交流会館練習室2



関連バスツアー開催!

渡岸寺の国宝・十一面観音や井上靖記念室に加え、湖魚料理も堪能。物語の舞台を五感で楽しみ、午後からは「湖北百景ー観音さんの里」公演を鑑賞する贅沢な一日をお届けします。  
日時：8月2日【日】9時  
旅行代金：14,000円\*チケット代込  
予約受付：5月23日【土】10時

会場：滋賀県立文化産業交流会館



チケット情報 プレイガイド 発売日：5月23日【土】10:00～

滋賀県立文化産業交流会館  
https://biwako-arts.tstar.jp  
\*5/23のみ電話予約は13:00～



滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール  
チケットセンター \*窓口・現金のみ  
\*7月から Oh!Me 大津テラス内に移転します

ローソンチケット  
https://l-tike.com  
Lコード：56222

主催・後援・助成・協力

- 【主催】公益財団法人びわ湖芸術文化財団 滋賀県立文化産業交流会館
  - 【後援】彦根市、長浜市、米原市、滋賀県教育委員会、彦根市教育委員会、長浜市教育委員会、米原市教育委員会、NHK大津放送局、びわ湖放送株式会社、朝日新聞大津総局、読売新聞大津支局、京都新聞、産経新聞社、中日新聞社、日本経済新聞社大津支局、毎日新聞大津支局
  - 【助成】芸術文化振興基金、公益財団法人全国税理士共栄会文化財団
  - 【協力】一般財団法人井上靖記念文化財団、渡岸寺観音堂、長浜市立高月図書館、高月観音の里歴史民俗資料館、公益社団法人長浜米原観光協会、編集工房 is
- \*本年度は芝居小屋「長栄座」公演15周年。皆様からのご寄付による夢キラリ文化基金を活用しています。



芸術文化振興基金助成事業



文化で滋賀を元気に!

会場案内・お問い合わせ先

滋賀県立文化産業交流会館  
Shiga Theatre for Cultural and Industrial Development

TEL：0749-52-5111  
<月曜日休館・祝日の場合は翌日>

〒521-0016 滋賀県米原市下多良2丁目137

【電車・歩】JR新幹線・琵琶湖線・東海道本線・北陸本線米原駅西口より徒歩約7分  
【車】北陸自動車道米原インターより約10分 / 名神高速道路彦根インターより約15分  
\*ご来場の際は、できる限り公共交通機関をご利用ください。

